

# 正太寺通信

第2号

## 主張

副住職の正哲です。昨年  
末から静岡県第4宗務所と  
いうところにお勤めを始め  
ました。曹洞宗宗務庁とい  
う曹洞宗の行政組織がある  
のですが、その出先機関で  
す。浜松市まで週に一度程  
度、一時間かけて自動車通  
勤をしています。

さてそんな通勤中、FM  
放送を聞いていたら耳に飛  
び込んできた言葉です。う  
る覚えですが「ゴミを捨て  
ないのは当たり前、拾って  
帰るぐらいじゃない」と  
いう内容でした。その日の  
ゲストの趣味がサーフィン  
で、先輩が「乗った波の数  
だけゴミを拾って帰る」と  
言っていたのに感動し、以  
来海に行ったら必ずそうし  
ているそうです。

それはかつこいい。ゴミ  
が落ちていないことに文句を  
言うのではなく、それを拾  
って帰る姿がとてまかつこ  
いい。

映画やドラマ、CM。空

き缶を投げ捨てたり、たば  
こを捨てたり、そういうシ  
ーンは多く、しかもかつこ  
よく描かれていることが多い  
です。それに引き替え、  
「ゴミを拾う」というのは、  
華やかなかつこよきとして  
描かれることはほとんど無  
いように思います。地道に  
ゴミを拾うドキュメンタリ  
ーなら見たことあります  
が、映画やドラマの中で、  
かつこいい役者がかつこよ  
くゴミを拾うシーンはまだ  
見たことがありません。

腰をかかめたりしやがみ  
込んだりしますから、きれ  
いには描きにくい場面だと  
は思います。でもそこを技  
術でカバーして「ゴミを拾  
うって、こんなにかつこい  
いことなんだ」「ああやつ  
てゴミを拾えば、かつこい  
いんだ」と思える映像をど  
こかで作ってもらいたいで  
す。映像というのは影響が  
強いからです。

話を少し戻しましょう。  
ゴミを捨てないだけでは当  
たり前なのです。人のゴミ

も拾って帰る。捨てる人が  
いる傍らで、黙々と拾って  
帰る。もしかしたら、その  
姿を見て、罪悪感を感じる  
人が出るかも知れない、出  
ないかも知れない。  
そこに期待をせずに、た  
だ黙々と、自分の信じる行  
いをする。それはまさに仏  
道修行そのものです。今度  
どこかへ出かけたら、ぜひ  
ゴミを拾って帰りましょ  
う。多少ゴミが自分の荷物  
を占拠しても我慢して、拾  
って帰りましょう。私もが  
んばりますから、皆さんも  
一緒に、がんばりましょう。

## お葬式って？

### 懺悔

### 連載②

剃髪の次は、懺悔の儀式  
です。キリスト教では「ざ  
んげ」と読みますが、仏教  
では「さんげ」と、濁りま  
せん。仏教徒の皆さんには  
是非「さんげ」と発音して  
いただきたいと思います。

懺悔の儀式では、知らず  
知らずのうちにとまってし  
まった故人の罪や業（悪い  
行い）を懺悔するため、故  
人に成り代わりお役僧様方  
が御導師様に続いて懺悔文  
をお唱えします。

「我昔所造諸悪業 皆由  
無始貪瞋痴 従身口意之所  
生 一切我今皆懺悔」（が  
しゃくしよぞうしよあくご  
う かいゆうむしとんじん  
ち じゅうしんくいししよ  
しよう いっさいがこんか  
いさんげ）私が昔から（自  
覚して、あるいは無自覚に）  
造った様々な悪の行いは、  
皆、始めのないほど深い貪  
り、瞋（いか）り、おろか  
さより生じたものです。そ  
れは身体が行い、口の行い、  
意（こころ）の行いから生  
じたものでした。一切を、  
私は今、懺悔いたします。

このお唱えにより、故人  
の罪や業はすべて消え去  
り、大清浄となります。剃  
髪もすでに済ましています  
から、見た目も、そして身  
体も心も、きれいな姿にな  
ったのです。

このお唱えの時に、お役  
僧様方が一斉に合掌をする  
ため、つられて手を合わせ  
られる参列者の方をお見受  
けします。回りの方が合わ  
せていないのに気がついて  
すぐに戻してしまわれるこ  
とが多いですが、どうぞそ  
のままお手をお合わせくだ  
さい。合掌は、時と場所を

選びません。してはいけな  
い時は、ないのです。故人  
が美しい姿になる大変重要  
な儀式ですから、ぜひ手を  
合わせて、もしよろしけれ  
ば一緒に懺悔文をお唱えい  
ただければなおよろしいこ  
とです。短いお唱えです。  
ぜひ覚えて、常々お唱えく  
ださい。

## カジュラコンサート

今年も聴けまう！

昨年十月に開催されたカ  
ジュラルコンサートが今年  
も開催されることになりま  
した。昨年と同じくフェス  
ティナレンテ アンサンブ  
ルの皆さんに、正太寺本堂  
でさまざまな曲を披露して  
いただきます。ご家族ご友  
人お誘い合わせの上ぜひお  
越しください。

十月七日午後七時開演。  
正太寺本堂にて。入場無  
料！

お問い合わせは主催の力  
ジュアルコンサートまで。

発行人 曹洞宗宇津山正太寺  
住職 穴水春男  
編集人 副住職 穴水正哲  
静岡県湖西市入出八〇〇番地  
電話〇五三一五七八一〇〇四九  
http://www.shotajii.or.jp/  
info@shotajii.or.jp